

鳥類の食性と給餌方法

\*すり餌は腐敗しやすく1日2回は交換  
\*ミルワームはビタミン処理を基本とする。赤裸ヒナには中身を絞りに出して与える。

種類	救助原因	飼育上の注意	自然状態主食	自然状態副食	飼育餌	回数	方法	巣立ち日数
ツバメ	巣ごと、巣から落ちる 猫に襲われる 誤認保護 ガラスへの衝突	裸雛は37～38度で保温 孵化直後の雛にはミルワームの頭を取ること ビタミン不足になりがちなのでビタミン剤で補給 出来るだけ広い部屋で飛行訓練をする	飛翔昆虫		ミルワーム コオロギ ドックフード すり餌		雛は食べたいだけ与える 巣立ち頃はミルワーム換算一日50～100匹 出来るだけ自然食を与える 長期飼育時はビタミン不足に注意すること	抱卵:15日 在巢期間:20日
ハクセキレイ	巣ごと、巣から落ちる 誤認保護 ガラスへの衝突 釣り針の誤飲	幼鳥同士で喧嘩をするので一羽ずつケージに入れる 広いケージと複数のえさ箱を用意すれば争いを防げる	昆虫 飛翔昆虫		ミルワーム すり餌			抱卵:14日 在巢期間:13～16日
ヒヨドリ	誤認保護 猫、カラスに襲われる心配 ガラスへの衝突	成鳥同士で喧嘩をするので一羽ずつケージに入れる 比較的早い時期に巣立つので誤認保護が多い ある程度羽が伸びてきたら羽擦れ防止のため大きめのケージに收容 人慣れしやすい	雑食 繁殖期:昆虫 非繁殖期:果実、蜜	繁殖期:果実、蜜 非繁殖期:昆虫	ドックフード マイナーフード ミルワーム 果物	雛:7	ビタミン不足による脚弱症に注意:果実中心に 動物質、植物質をバランス良く与える ビタミン剤での補給も可 雛は食べたいだけ与える ムクドリより果実食	抱卵:14日 在巢期間:10日
ムクドリ	巣から落ちる 餌不足による衰弱 猫、カラスに襲われる	十分飛べるようになってから巣立つ 警戒心が薄い鳥なので、警戒心が発達してから放野をする	地中の虫 木の实 果実		ドックフード マイナーフード ミルワーム 果物		動物質、植物質をバランス良く与える ヒヨドリより昆虫食 雛は食べたいだけ与える	抱卵:15日 在巢期間:20日
スズメ	誤認保護 駆除される 病気 ガラスへの衝突	裸雛は37～38度で保温 孵化直後の雛にはミルワームの頭を取ること ある程度羽が伸びてきたら羽擦れ防止のため大きめのケージに收容 滑る床は開脚症になるので、ティッシュペーパーを敷く	繁殖期:昆虫 非繁殖期:雑食	繁殖期:種子	すり餌 粒餌 ミルワーム 青菜		裸雛～幼羽:除頭ミルワーム2つ切りか中身だけ 幼羽～巣立ち:ミルワーム、すり餌、アワ玉	抱卵:12日 在巢期間:14日
シジュウカラ	誤認保護 餌不足による衰弱 ガラスへの衝突	幼鳥同士で喧嘩をするので一羽ずつケージに入れる 孵化直後の雛にはミルワームの頭を取ること	繁殖期:昆虫 非繁殖期:昆虫、木の实、果実	繁殖期:木の实、果実	ミルワーム すり餌 木の实 ドックフード	7	裸雛～幼羽:除頭ミルワーム2つ切りか中身だけ 幼羽～巣立ち:ミルワーム、すり餌、木の实	抱卵:14日 在巢期間:14～20日
メジロ	誤認保護 密猟 巣から落ちる ガラスへの衝突		繁殖期:昆虫 非繁殖期:昆虫、果実、蜜	繁殖期:果実、蜜	ミルワーム すり餌 果実	7	裸雛～幼羽:除頭ミルワーム2つ切りか中身だけ 幼羽～巣立ち:ミルワーム、すり餌、果実	抱卵:11日 在巢期間:11日
カワラヒワ	巣から落ちる 誤認保護 ガラスへの衝突	一生を通して種子食	種子		小鳥用配合飼料 青菜	7	過食による食滞に注意 ビタミン剤でビタミン補給	抱卵:11～13日 在巢期間:14日
ツグミ類	ガラスへの衝突 餌不足による衰弱 釣り針の誤飲		昆虫	果実	マイナーフード ミルワーム 果物 すり餌			
オナガ	誤認保護 猫、カラスに襲われる	吐き戻すことがあるので、少量ずつ回数を多くして補う 人慣れしやすい ある程度羽が伸びてきたら羽擦れ防止のため大きめのケージに收容	雑食:昆虫、果実		ドックフード 果物 ミルワーム		雛:動物質を多く 幼鳥:バランス良く 体重の変化に注意	抱卵:16日 在巢期間:18日
ドバト キジバト	猫、カラスに襲われる 巣ごと落ちる 駆除される	幼鳥時に無理に保定するとショック死することもある 鳩同士で喧嘩をするので一羽ずつケージに入れる 興奮を防ぐため布などを掛けて人が見えないように	木の实、植物質		鳩餌配合飼料 ムキアワ		食滞が起こりやすいので注意すること	キジバト:抱卵:15日 在巢期間:15日 ドバト:抱卵:20日 在巢期間:25日
カモ類 ハクチョウ類 ガン類	高圧線による接触 交通事故 護岸がある川、池に落ちる 人家に迷い込む	餌入れは小さく転倒しない物 水浴びで羽が乾かない時は乾燥させる 弱っている鳥は水浴び禁止 & 保温 雛は40度程度の保温し、ずぶ濡れにならないように	雑食 穀物 水草 貝、魚		粒餌 鳥用配合飼料 小魚(アイサ類) 青菜		雛は夜間でも餌を食べる 雛の体重が増えるまでは金魚の浮き餌 ミルワームなど動物質を与える 体重が増えたら動物質を制限する	マガモ 抱卵:24～40日 在巢期間:45～57日
鷺鷹類	交通事故による骨折 餌不足による衰弱 感染症、鉛中毒 ガラスへの衝突	カルシウム不足から来る低カルシウム血症 落ち着かせること フ瘡防止のため止まり木は鳥にあったものを使う 興奮を防ぐため外界との接触窓は正面のみとする ペリットを作らせるため骨や羽毛を食べさせる	魚類、鳥類 小型哺乳類 ネズミ、蛇、蛙 昆虫類		なるべく自然食で マウス、ラット ヒヨコ 鶏頭		トビは魚類を混ぜカルシウムを補給 その他は手羽先、鶏頭などで補給 過食による食滞に注意 早期の放野を目指す	オオタカ 抱卵:36～38日 在巢期間:41～43日
フクロウ類	交通事故による骨折 餌不足による衰弱 ガラスへの衝突 巣から落ちる	ペリットを作らせるため骨や羽毛を食べさせる 早期の放野を目指す 人慣れしやすい	鳥類 小型哺乳類 ネズミ、蛇、蛙 昆虫類(アオバズク)		鶏頭 ヒヨコ マウス、ラット			抱卵:24～34日 在巢期間:24～50日
サギ類	巣から落ちる 餌が獲れない 交通事故 農薬中毒	興奮で餌を吐き戻すことがある 羽毛の汚れに注意(プール必要) ケージに嘴が挟まらないようにケージでの飼育は避ける 落ち着かせること	両生類 爬虫類 昆虫類 菌類		ワカサギ 小魚 小アジ		水を張った皿に魚を入れる	コイサギ 抱卵:20日 在巢期間:25日
ミズナギドリ ウミツバメ アホウドリ	巣立ち雛が陸地に迷い込む 台風で陸地へ流される	羽毛の撥水性の消失 胸筋、骨の退化 羽毛の痛み、20度以上に保温	魚 海産プランクトン イカ		魚 イカ エビ	1～3	海水程度の塩水に浸して	
カモメ類 アジサン類	電線との接触 釣り針の誤飲 釣り糸に絡まる	興奮で餌を吐き戻すことがある 羽毛の汚れに注意(プール必要) 落ち着かせること	小魚		ワカサギ ムツゴ 小魚	2～3	水を張った皿に魚を入れる	カモメ 抱卵:20～34日 在巢期間:35～42日